

練馬区立石神井中学校 令和2年度 学校評価アンケート集計結果

令和2年度の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。下記のとおりご多用の中にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。

学校評価アンケートは、同内容の項目について、生徒・保護者に回答をしてもらっています。それは、教育内容をどう感じているのか、また、立場により感じ方が違うところなどを見付け、学校運営上大切にしていかなければならないことの確認や、改善策を作るために活用しています。

集計結果の分析や今年度のアンケートでいただいたご意見を項目ごとに整理し、現状や対応策を考えてみました。

生徒・保護者の皆様からの様々なご意見を受け止め、次年度の計画に生かしていきますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

アンケート回答数と回答率

学校評価アンケート
生徒・保護者
回答集計表

学年	対象	在籍	回答数	回答率
1	生徒	210名	204件	97.14%
1	保護者	210家族	160件	76.19%
2	生徒	199名	184件	92.46%
2	保護者	199家族	149件	74.87%
3	生徒	215名	195件	90.69%
3	保護者	215家族	174件	80.93%
全校	生徒	624名	583件	93.42%
全校	保護者	624家族	483件	77.40%

評価項目	学年	生徒				保護者				学校より 評価・改善策	
		非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない		
1 石神井中学校の教育は教育目標に沿っている。	1年	31.9	45.6	11.3	0.0	1年	15.6	58.1	23.1	0.6	本校の教育の目指す姿が生徒に浸透できるよう指導するとともに、生徒アンケートや生徒に寄り添った指導を通して、生徒が求めている姿を把握し、指導に生かす必要がある。第1学年においては、大変良好な数値となっているので、生徒指導の検証をし、次年度に生かしていく。
	2年	15.8	46.2	27.2	5.4	2年	15.4	47.7	35.6	0.0	
	3年	35.9	40.5	17.4	1.5	3年	14.4	60.3	23.0	0.0	
2 石神井中学校は楽しく、充実した生活ができる場である。	1年	50.5	26.5	12.3	0.0	1年	28.8	49.4	17.5	1.9	生徒に対しては、質問1と同様な傾向がうかがえる。例年、学年が上がるにしたがって、満足度が増えていき、第3学年が最も充実した結果となるのであるが、本年はそういう傾向ではない。コロナ感染症対策の影響を受けて、集団での活動に大きな制限を受けたこともあり、楽しさ、充実感が今一つであったことも考えられる。
	2年	20.1	46.7	22.3	5.4	2年	22.2	49.7	26.2	0.7	
	3年	46.2	37.8	14.9	2.6	3年	27.6	50.6	19.0	2.3	
3 石神井中学校は生徒が互いの気持ちを考えたり伝えたりできるように促している。	1年	36.8	37.3	15.2	0.0	1年	12.5	55.6	27.5	1.3	コロナ感染症対策の影響を受けて、お互いの気持ちを伝えたり考えたりする行為が制限され、充実した活動ができなかった。保護者の方にもご理解はいただいていると思うが、十分ではなかったことは痛感している。来年度は、コロナ禍の中でも知恵と工夫を働かせ、制限ある中でも満足感が得られるような取組を練っていく。
	2年	13.6	42.4	33.7	4.4	2年	13.4	39.6	39.6	3.4	
	3年	41.5	35.9	16.4	1.5	3年	14.4	50.0	32.2	0.6	
4 石神井中学校は教育活動の内容や生徒の様子を、「たより」などで保護者に伝えている。	1年	59.8	26.0	3.4	0.0	1年	32.5	42.5	20.6	1.9	各学年便りを中心に、学校での生徒の活動の様子を概ね伝えることができていますが、ホームページ等においても学校生活の様子を例年以上に配信している。来年度は、さらに工夫をし、生徒・保護者の満足が高まるよう取り組んでいく。
	2年	35.3	39.1	18.5	1.6	2年	22.8	46.3	28.2	1.3	
	3年	56.4	26.2	11.3	1.5	3年	23.0	51.7	23.0	1.2	
5 石神井中学校はわかりやすい授業をしている。	1年	40.2	40.2	8.8	0.0	1年	11.3	50.0	30.0	5.6	現2年生、3年生の実際に授業や指導を受けている生徒の数値に大きな変化はない。されど、1年生の評価はすこぶる高く、生徒が満足する授業が展開されていることがわかる。一方、保護者の受け止め方は厳しく、保護者としてはより高いレベルでの指導を求めていることの数値ではないかと思われる。
	2年	16.3	48.9	25.5	4.4	2年	11.4	37.6	44.3	4.0	
	3年	23.6	35.4	32.3	4.1	3年	7.5	37.4	48.3	5.8	

評価項目	生徒				保護者				学校より		
		非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない		非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	評価・改善策
6 石神井中学校は基礎的・ 基本的な学力がつけられ るような指導をしている。	1年	52.9	28.9	7.4	0.0	1年	15.0	28.1	28.1	5.6	生徒の満足度は、概ね良好であり、学校が目 指している基礎的・基本的な学力は身に付いてい ると思われる。一方、保護者の受け止め方は厳 しく、コロナ感染症対策の影響が生徒の学力に 影響を及ぼしていると感じているように受け取 れる。学校が目指している基礎的・基本的な学 力について、周知する必要があるように思え る。
	2年	25.0	46.7	21.2	1.6	2年	13.4	41.6	39.6	2.7	
	3年	41.0	36.4	16.9	1.0	3年	11.5	45.4	37.9	4.6	
7 石神井中学校は考える力 (思考力など)がつけら れるような指導をしている。	1年	42.7	38.7	7.8	0.0	1年	15.0	41.9	31.9	8.8	考える力を付けるには、議論の充実を図る必 要がある。今年度は、感染症対策の影響を受 け、意見交換や話し合い活動に大きな制限が付 いたことで、十分な学び合い活動やアクティ ブ・ラーニングが出来ていない。昨年度に比 べ、2、3年の「非常によく出来ている」が減 少したことは、この影響が考えられる。
	2年	20.1	46.7	24.5	3.3	2年	9.4	38.9	43.0	6.7	
	3年	36.9	42.1	13.9	2.6	3年	9.2	46.0	40.2	3.5	
8 石神井中学校は生徒が集 団生活のルールを守り、 規範意識をもてるように 指導している。	1年	41.7	38.2	9.3	0.0	1年	26.9	50.6	18.8	0.6	全学年、生徒・保護者の両方において、前年 より良好な結果となっており、集団生活のため のルールや規範意識をもった生活の重要性を理 解している殺れとみることが出来る。されど、 生徒アンケートの中には、校則についての記述 もあるので、少数意見も見逃さずとなく、必 要とあれば改善を図っていく姿勢は大事にして いく。
	2年	25.0	42.4	23.4	3.8	2年	26.9	45.6	24.8	1.3	
	3年	58.0	32.3	5.1	0.0	3年	32.2	49.4	16.1	1.2	
9 石神井中学校は挨拶を大 切にし、互いに挨拶する ことを奨励している。	1年	71.1	15.2	2.9	0.0	1年	45.0	41.3	10.0	1.3	例年通り、生徒・保護者も大変に高い評価と なっている。生徒たちも、本校での「あいさ つ」は、他校に誇れる本校の良さと考えてい る。学校は、礼儀正しい気持ちの良いあいさつ ができることはとても大切だと考えているの で、今後も全教育活動を通して、心を耕す指導 を行い、しっかりとあいさつのできる生徒の育 成に努めていく。
	2年	50.5	34.8	8.2	1.1	2年	41.6	34.9	19.5	3.4	
	3年	75.4	15.9	4.1	0.0	3年	52.3	36.2	8.1	2.3	
10 石神井中学校は生徒が 困ったときに親身になっ て相談に応じている。	1年	31.4	41.7	15.2	0.5	1年	20.6	38.8	36.3	0.0	2、3年生においては、前年とほぼ同様な結 果となっており、学年生徒、保護者の受け止め に大きな変化はない。しかしながら、3年生保 護者の数値が2年次と比べ満足度が減少した。 コロナウイルス関連で、入試関係にも大きな変 更や負担が生じている中で、きめ細やかな進路 指導・進学指導を求めていることがうかがえ る。この結果を次年度に反映していく。
	2年	19.0	37.5	31.0	7.1	2年	19.5	38.9	35.6	5.4	
	3年	38.5	38.5	17.4	1.0	3年	20.1	39.1	36.2	4.0	
11 石神井中学校は生徒の問題 のある行動に対して、 適切な指導、家庭連絡を している。	1年	43.1	34.3	10.8	0.5	1年	18.1	45.0	31.9	1.9	学校は問題が発生した場合、迅速な対応が重 要だと考え、対応しているが、課題のある生徒 に対する指導や家庭連絡に対するご指摘と受け 止め、今後も保護者との連携を深め、連絡・協 力体制を大切にしていける。
	2年	20.7	47.8	20.1	5.4	2年	16.1	43.0	33.6	4.0	
	3年	47.7	35.4	11.3	1.0	3年	20.7	42.5	32.8	2.9	
12 石神井中学校は生徒の良 いところは認め、いけない ところは注意している。	1年	48.0	34.8	6.4	0.0	1年	23.1	43.1	31.3	0.0	生徒記述アンケートからもうかがえることで あるが、「生徒の良いところは認め」という部 分に改善の余地があると考えている。 生徒の考えを聞き、納得して前進していく、 生徒指導の充実を図っていく。
	2年	21.2	42.4	25.5	5.4	2年	18.8	43.6	31.5	4.7	
	3年	48.2	30.8	13.3	2.6	3年	19.0	47.7	30.5	1.7	
13 石神井中学校は生徒が心 身の健康を保てるように 支援している。	1年	39.2	38.7	11.3	0.0	1年	22.5	46.3	26.9	1.9	できる限りの感染症対策への対応や指導を展 開してきた。「心の健康」に対する対応として スクールカウンセラーの2名配置等の対応をし ている。今後も道徳教育の充実、忘れないう の活用、計画的な指導の充実を図っていく。
	2年	22.3	41.3	24.5	6.5	2年	24.2	39.9	35.6	2.0	
	3年	50.3	30.3	12.3	2.6	3年	18.4	48.3	28.7	3.5	
14 石神井中学校は生徒が学 校行事を通して、充実感 や達成感を感じられるよ うにしている。	1年	48.5	29.9	10.8	0.0	1年	23.8	39.4	30.0	3.8	今年度は、学校行事そのものが実施できない ことが多く、充実感や達成感が十分ではないこ とは理解しているが、記述アンケートには、行 事そのもののねらいやその価値に対する疑問が 述べられていた。伝統の大切さ、多人数での利 点などを生かし、生徒が充実感・達成感を感じ られる場を多くしていく。
	2年	26.6	41.3	17.9	8.2	2年	22.2	44.3	27.5	4.7	
	3年	60.0	25.1	9.2	1.0	3年	21.8	50.6	24.7	2.3	

評価項目	生徒					保護者					学校より
		非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない		非常に よく出来 ている	よく 出来て いる	大体 出来て いる	あまり 出来て いない	評価・改善策
15 石神井中学校は校舎・校 内・教室の環境美化に努 めている。	1年	49.0	31.4	8.8	0.0	1年	23.8	48.8	23.1	1.9	密な状態を避けなければならない状況の中、本校はそれに対応できない施設状況である。ICT機器の整備により教室に設置する機材が増え、スペースが狭くなっている上で、密を避ける対応や換気をしなくてはならない状況を受け、生徒にとっては望ましい環境ではないことは承知している。教育委員会等への要望を継続し、改善できるようにしていく。
	2年	21.7	41.7	23.4	7.6	2年	20.8	45.6	30.9	2.0	
	3年	41.5	36.9	12.8	4.1	3年	20.1	50.0	27.6	0.6	
16 石神井中学校は生徒が部 活動を通して、充実感や 達成感を感じられるよう にしている。	1年	55.9	20.1	13.2	0.0	1年	28.1	44.4	22.5	2.5	非常事態宣言を受け、臨時休校や分散登校、部活動停止など、部活動に対する影響は甚大なものがあつた。第2学年生徒の「不十分」と意思表示をしている8.7%は当然の数値と受け止めている。一方で保護者の「不十分」数値が前年比に比べ、大きく改善しているのは、時間的・質的な部分が生徒の発達段階に合っていると判断しているのではないと思われる。
	2年	30.4	35.9	17.4	8.7	2年	25.5	47.0	22.8	2.0	
	3年	57.4	25.6	11.3	1.0	3年	31.0	44.8	22.4	0.6	
17 私は石神井中学校へ通って 良かったと感じている。 (私は、子どもが石神井中 学校へ通って良かったと感じ ている。)	1年	52.0	26.0	11.8	0.0	1年	36.3	41.9	18.8	0.6	例年の傾向では、学年が上がるにつれて、数値が良い方向に振れていく傾向があるが、今年度は、特に1年生の満足度が高い結果となっている。中1ギャップという課題にうまく対応した指導が展開できた表れと思われる。今後も、生徒が求めている学校像に迫れるよう、全職員が一丸となって取り組んでいく。
	2年	31.0	40.8	16.9	6.0	2年	35.6	37.6	23.5	2.0	
	3年	47.7	32.3	13.9	1.5	3年	35.6	46.0	14.4	3.5	

自由記述意見に対する回答

【評価アンケート全般に関すること】

記名することやアンケート項目の選択肢（「よい」に関するものが3つある）について

- 無記名で選択肢の変更（例：5項目 大変良い・概ね良い・どちらともいえない・少し不十分・改善が必要）をしていきます。

I 生徒アンケートより

(1) 生活に関すること

① 体育の授業でのマスク着用について

→ 体育実技の授業では、激しい運動をするときにはマスクを外して行うことができます。（マスクをしたまま激しい運動をして、呼吸困難で事故になった問題があつたため）ただし、基本的にはマスクを着用して、運動が激しくなるようならマスクを外すようにしてください。

② タイツの色について

→ 従来までのベージュに加え、令和2年度に限り、黒（80デニール以上）を使用可としました。着用する場合はルールを守り寒さ対策をしてください。校則の見直しで検討します。

③ 登下校のカバンの重さと置き勉について

→ 毎日かなり重いバッグを背負って登下校している状況は理解しています。少しでも改善するために学校のロッカーに置いておいても大丈夫な勉強道具について再度検討していきます。ただし、皆さんへもお願いがあります。他人の学習道具を勝手に借りたり、イタズラしたりは絶対にしないでください。誰もが安全に安心して生活できる環境を作ることに協力してください。

④ 部活動について

→ 最終下校時刻は、生徒が校門を出る時刻として徹底します。部活動保護者会において各部活動の方針、活動予定などの共有を図ります。

→ 部長会を開催し、部活動の課題など改善を図ります。

⑤ あいさつについて

→ あいさつは、人間関係づくりの第一歩と考えています。あいさつの盛んな学校という伝統を大切にしていきたいと思います。

⑥ 校則全般について

→ コロナ禍収束の見通しがついたら、校則について見直しを進めていきます。実際の会議には、生徒の皆さんや保護者の皆さんにも参加してもらうように考えています。

(2) 学習に関すること

① 学習への不安について

→ 効率的な学習の進め方や、しっかり基礎を身に付けるためにどうすればいいかなど不安がある人は、いつでも授業担当の先生や学級担任の先生に相談してください。また、タブレットPCに導入した学習支援ソフトを活用してみてください。

→ 地域連携事業の放課後「未来塾」も積極的に活用してください。

(3) 学校行事について

① 学校行事について

→ 学習指導要領には学校で以下の行事を適切に行うこととなっています。各学校行事がある意味を大切に、自主的に取り組んでください。

1) 儀式的行事（入学式、卒業式、始業式、終業式など）

学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。

2) 文化的行事（合唱コンクール、作品展など）

平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。

3) 健康安全・体育的行事（体育祭など）

心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。

4) 旅行・集団宿泊的行事（修学旅行、スキー移動教室など）

平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむ学校行事とともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。

5) 勤労生産・奉仕的行事（職場体験、ボランティア活動など）

勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。

② 学級活動（話し合い活動）について

→ 学習指導要領では、学級活動において次のことを学習することになっています。課題を解決するために必要な話し合いは大切です。

1) 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。

2) 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

3) 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

③ 生徒会活動について

→ 学習指導要領では、生徒会活動において次のことを学習することになっています。より良い学校生活を送るためには、常に改善を心掛けることは必要だと思います。

1) 生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けるようにする。

- 2) 生徒会において、学校全体の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。
- 3) 自治的な集団における活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。

2 保護者アンケートより

(1) 家庭と学校の連携について

① 配布プリントについて

→ 配布プリントが保護者の手元まで届かない場合もあるので、重要なお知らせや提出をお願いする文書はHPにも掲載するようにします。学年だよりや学級だよりは個人情報を多く含みますので現状通り紙ベースで対応します。

② 学校への相談について

→ ご家庭と学校とが連携し、子どもたちの成長に関わるというスタンスを大切にして、誰もが石神井中で良かったと思えるようにしていきましょう。

③ コロナ対応について

→ コロナ感染症への基本的取り組みである、手洗い、健康チェック（検温）、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保などは継続して行きますので、ご家庭でもよろしくお願いします。

(2) 学習内容について

① キャリア教育について

→ 今年度（令和2年度）はコロナ禍の影響により、職場体験は中止となってしまいましたが、令和3年度に向け、もし体験できないとしても別の方法で職業や生き方について学習を計画します。

② 学習状況について

→ 令和2年度は2か月（4～5月）の休校期間があり授業時数を心配しましたが、その後行事の中止、長期休業日の短縮、土曜授業での調整などにより、例年通りの授業時数を確保できています。学習の定着に関しては、国・都・区の学力調査がなかったので経年での比較はできていませんが、校内の定期考査などから着実に学習できていると判断できます。

③ 授業について

→ 令和3年度から学習指導要領が改定になります。各教科では「何を理解しているか。何ができるか。（知識及び技能）」、「理解していること、できることをどう使うか。（思考力、判断力、表現力等）」、「どのように社会と関わりより良い人生を送るか。（学びに向かう力、人間性等）」を大切に授業を進めていきます。

④ 自主学習の進め方について

→ タブレットPCが生徒一人に1台ずつ貸与されています。石神井中では、学習支援ソフト「ラインズeライブラリ」を使用し、家庭でも自主的に9教科の学習ができるようにしています。

⑤ 学習評価について

→ 生徒の学習状況は通知表等でお知らせしていますが、各教科の学習状況についての評価は定期考査の点数ばかりではなく、授業プリント、作品、実技テストなど各教科の特性から総合的に判断しています。

(3) 学校生活について

① 給食について

→ 中学生期の子どもたちに必要な栄養、食事量のバランスを考え実施しています。生徒たちに人気のメニューやそうでないメニューがあるのはいつの時代も同じです。給食に関わってくださっている多くの皆さんに感謝しながらいただきます。また、給食の時間はしっかり確保していきます。

② あいさつについて

→ コロナ禍もあり、大きな声でのあいさつはしにくい状況ですが、あいさつは人間関係の第一歩と考えています。ご来校の際は保護者の皆様からも、あいさつの大切さを伝えるためにお声掛けください。

③ 生徒指導について

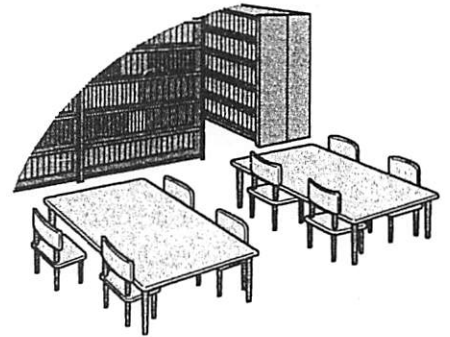
→ 生徒との人間関係を確かなものとし、卒業までに身に付けてもらいたいことや将来のために必要なことを生徒が納得できるように指導していきます。場合によって保護者の皆様にもご協力いただきます。

④ 学校施設について

→ 学校施設の改善については、毎年の学校配当予算、練馬区の予算などで対応しています。コロナ禍による大幅な税収減もありますが、令和3年度に向けては、校舎水道管の直結工事（高架水槽を使わず、水道管に直接つなげる）、プール改修工事、体育館（武道場含む）床補修工事などを予定しています。また、図書室の拡張、西側トイレのドライ化、バリアフリー化（校地内各所の段差の改善）など継続して予算要望をしていきます。

⑤ 再登校について

→ どうすれば生徒の安全を確保しながら対応できるか検討します。



緊急事態宣言の延長を受けて

コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の延長に伴い、学校における様々な教育活動の制限が続き、引き続き、ご迷惑をおかけしています。

練馬区では、緊急事態宣言の解除の日まで、「感染予防対策を講じても、なお飛沫感染の可能性が高まる学習活動は原則行わない」ことを継続しています。したがって、本校でも3月に予定していた合唱コンクールが、残念ではありますが、中止となっています。しかしながら、次の活動については、保護者の了承のもと、しっかりとした感染症対策が講じられているという条件で実施可としています。

1 2年校外学習および3年校外学習

内容等につきましては、学年より配布されます実施についてのお知らせをご覧ください。

2 部活動

校内で実施する部活動については、短時間を前提として、生徒の体力低下等への配慮をおこなうとともに、感染予防対策を十分講じた上での実施を前提とすることとなっています。

本校では、これを踏まえて次のような形で実施していきます。

【下校時刻】

- ・再開1週目（3/12（金）まで）は、17:30を最終下校時刻とする。
- ・再開2週目（3/19（金）まで）は、18:00を最終下校時刻とする。
- ・3/22（月）以降は通常の活動とする。

【朝練習および土日の活動】

- ・緊急事態宣言中は朝練習および土日の活動は実施しない。

【部活動単位での3年生を送る会】

3年生の卒業の前後に3年生を送る会やそれに準じた卒業生との練習会等を実施する部活動もあります。その際に保護者の参観等がある場合は、密を避けて感染症対策をおこなった上での実施を可とします。ただし、飲食を伴わない活動でお願いいたします。

日程確保ができない場合に限り、3/21（日）の実施を可としますが、ご配慮の方をお願いいたします。



★ なお、1年生および2年生の保護者会も実施となっています。各学年からのお知らせをご覧ください。